

2025 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 坪田ラボ
 代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
 (コード番号：4890 東証グロース市場)
 問合せ先 企画管理本部マネージャー 木下 淳
 (TEL 03-6384-2866)

令和 7 年度「知財功労賞 特許庁長官表彰」を受賞

株式会社坪田ラボ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：坪田一男、以下「当社」）は、このたび、経済産業省と特許庁が主催する令和 7 年度「知財功労賞 特許庁長官表彰」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

本表彰は、毎年 4 月 18 日の「発明の日」にあわせ、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献した企業等に対して「知的財産権制度活用優良企業等表彰」として、経済産業大臣表彰および特許庁長官表彰が行われるものです。



【受賞理由の概要】

◇ 知財を核としたライセンス型ビジネスモデルの展開

近視、うつ病、認知症等の進行抑制を目指して医療機器・医薬品・非医療機器を開発。自社では製造・販売を行わず、自社のアイデアを大学との共同研究を通じて創出した技術を特許化し、パートナー企業にライセンスすることで事業化を実現。

◇ 特許戦略とパートナー契約の早期締結を両立する手法の確立

論文発表に先立ち、国内外でのコア特許（基本概念）や用途特許、製剤特許を取得。そのうえで臨床試験結果を含むデータパッケージを整備し、パートナー企業と早期に契約を締結。これにより、株式会社ジンズホールディングスとのバイオレットライト技術を活用したメガネ型治療機器の開発や、ロート製薬株式会社および Laboratoires Théa（仏）との点眼薬開発等、多数のグローバルパートナーシップを実現。

◇ 大学との円滑な共同出願プロセスと、グローバル知財共有の仕組みづくり

共同研究に際して、論文発表前の特許出願を標準化。さらに、協業で生み出したノウハウやデータを自社がハブとなって各国・地域のパートナー企業と共有し、地域ごとの開発を加速させる仕組みを構築。



4月18日の「発明の日」には、令和7年度 知財功労賞表彰式が開催され、当社代表の坪田が、特許庁長官・小野洋太氏より表彰状を受け取りました。

■代表取締役社長 坪田一男 コメント

当社は、アカデミアとの共同研究を基盤とし、近視進行抑制をはじめとする社会課題の解決に向けたイノベーションに取り組んでいます。アカデミアとの共創で生まれた技術シーズを知財として守り、世界へ届けることを指名としています。このたびの受賞は、私たちの挑戦と努力が認められた証であり、今後も「ごきげんに」新たな価値創造に取り組み、社会に貢献してまいります。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

以上